

Title	彙報（1976年10月～1977年9月の研究活動）
Author(s)	
Citation	大阪外国語大学学報. 40 p.169-p.175
Issue Date	1978-03-15
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/80692
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

彙 報

(1976年10月～1977年9月の研究活動)

I 本期間中に学報のほかに次の研究誌が発行された。

『日本語・日本文化』第5号 (1977年3月)

1. 心に浮かぶままに……………大塚 鴻 爾
2. 大塚鴻爾教授退官記念号によせて……………吉 田 弥寿夫
3. ビルマにおける日本語教育の現状とその問題点……………西 出 郁 代
4. スペイン語国民に対する日本語教育の問題点 — 現場からの報告・その1 — 蔭 山 昭 子
5. 連体修飾のシンタクスと意味 — その2 — ……………寺 村 秀 夫
6. 多義性を有すゆ用言についての二三の考察
— Lexico-Syntax の姿勢において —……………仁 田 義 雄
7. 音形論と詩形論における音節……………山 本 ススム
8. “～テイル” “～テアル” の表現……………堀 口 和 吉
9. 「たい、たがる、ほしい、ほしがる」について
— 日本語分析の一試論 —……………加 藤 主 税
10. 外国人学生に対して行ったUP I 結果について — 第2年次 —……………氏 原 寛
11. THE HOLY FAMILY ……………Abrams James Richard 訳・注
12. THE MONTHLY NOTES ……………Abrams James Richard 訳・注
13. 「あまの原ふりさけみれば」小見……………浅 井 伸 一

『日本語・日本文化』第6号 (1977年9月)

1. 連体修飾のシンタクスと意味 — その3 —……………寺 村 秀 夫
2. 文末・句末の表現と語法……………田 中 章 夫
3. 山田文法における文の認定……………仁 田 義 雄
4. 一羽のウサギか、一匹のウサギか
— 助数詞による動物の分類について —……………奥 西 峻 介
5. 日西両語動詞「現在形」の用法をめぐる……………大 倉 美和子
6. ロシア語の「話す」という動詞について……………生 森 将 人
7. 南米日系人留学生とのカウンセリング
— 比較文化論的考察 —……………氏 原 寛
8. 生成音韻論文獻目録……………山 本 ススム

『SPRACHE UND KULTUR』第12号 (1977年)

1. 赤坂 力先生の30年 — 外国語を学ぶ姿勢について —八 木 浩
2. 訳語あれこれ.....赤 坂 力
3. とくに「送り手」問題にかんする日独小説の構造の対照.....乙 政 潤
4. Zur Reduktion der koordinierten daß-Sätze野 村 泰 幸
5. Martin Walser in seinen Romanen und Dramen八 木 浩
6. ウィーン世紀末世代のホーフマンスタール.....森 島 吉 美
7. J. Habermas の社会理論井 上 純 一
8. 戦後東ドイツにおける民主的土地改革
— ドイツ共産党の土地改革綱領をめぐって —村 田 武
9. Wadoku Dokuwa.....E. ストローム

『ロシア・ソビエト研究』第11号 (1976年)

1. ロシアにおける三文体論の系譜.....石 田 修 一
2. マヤコーフスキイの詩「汽車で」(Еды)について考えたこと.....田 中 泰 子
3. トルストイを語る.....法 橋 和 彦

※

※

※

〔以下、著書・訳書(A)、雑誌掲載論文(B)、口頭研究発表(C)〕

〔モンゴル語学科〕

■ 橋本 勝

A 1	モンゴル語の文字と発音	東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所	1977. 7
2	日本語—モンゴル語常用語彙集 (共編)	東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所	1977. 8
C 1	第3回世界モンゴル学会議報告	日本モンゴル学会秋季大会	1976. 11. 20
2	モンゴル言語学の課題	日本モンゴル学会春季大会	1977. 5. 28
3	Some Remarks on the Relationship of Japanese and Korean	1977 Linguistic Institute of the Linguistic Society of America, Honolulu	1977. 8. 5

〔インドネシア語学科〕

■ 森村 蕃

- | | | | |
|-----|---------------------------|--------------|-------------|
| B 1 | インドネシア語にみるアラビア語受動分詞からの外来語 | 「大阪外大学報」第39号 | 1977. 3. 15 |
|-----|---------------------------|--------------|-------------|

〔タイ・ベトナム語学科〕

■ 吉川 利治

- | | | | |
|-----|-------------|-------------------|--------------|
| C 1 | ラオスの伝統的政治体系 | 東南アジア史学会1976年秋季大会 | 1976. 11. 28 |
|-----|-------------|-------------------|--------------|

〔ペルシア語学科〕

■ 勝藤 猛

- | | | | |
|-----|----------------|--------------------------|-------------|
| B 1 | ジンギス・カンの生年について | 「江上波夫教授古稀記念論集歴史篇」(山川出版社) | 1977. 5. 15 |
| 2 | 体験的アフガニスタン文化論 | 「月刊シルクロード」8・9月号(シルクロード社) | 1977. 8. 1 |

〔ドイツ語学科〕

■ 乙政 潤

- | | | | |
|-----|-----------------------------------|--|--------------|
| A 1 | E. ケルヴェル/H. ルートヴィヒ：洗練されたドイツ語 | (白水社) | 1977. 9. 22 |
| B 1 | 省約的表現「名詞＋形容詞」
— 広告の例を手がかりとして — | 「ドイツ文学」57(日本独文学会) | 1976. 10. 10 |
| 2 | お手軽「ドイツ語学力テスト」 | 「ドイツ語教育部会会報」10/11
(日本独文学会ドイツ語教育部会) | 1977. 5. 23 |
| 3 | とくに「送り手」問題にかんする日独小説の構造の対照 | 「Sprache und Kultur」12
(大阪外大ドイツ語科研究室) | 1977. 9. 28 |
| C 1 | LLによるドイツ語教育の問題点
(ディスカサントとなる) | LL学会昭和52年度全国大会 | 1977. 9. 4 |

■ 村田 武

- | | | | |
|-----|---|--|-------------|
| B 1 | 戦後東ドイツにおける民主的土地改革
— ドイツ共産党の土地改革綱領をめぐって — | 「Sprache und Kultur」12
(大阪外大ドイツ語科研究室) | 1977. 9. 28 |
| 2 | ジャガイモ国の食糧自給
(見てきた外国の農業 — ドイツ民主共和国) | 「あすの農村」1977年6月号
(新日本出版社) | 1977. 5. 20 |

〔デンマーク語学科〕

■ 菅原 邦城

B 1	ベルゲン出土のルーン資料	「北欧」13・14号 (北欧文化通信社)	1976. 10 ～1977. 1
2	スノッリの父 ストゥルラ	「IDUN」3号(大阪外大デンマ ーク語学科研究室)	1976. 12
3	A Report on Japanese Translations of Old Icelandic Literature	「Scripta Islandica」27/1976 (Islandska sällskapet, Uppsala)	1976. 12
4	バンダマンナ・サガ ― 欺かれた首領たちの物語 ―	「大阪外大学報」39号	1977. 3
C 1	「アルヴィースの歌」のことばについて	大阪言語研究会	1977. 7

〔イスパニア語学科〕

■ 山崎 俊夫

A 1	国際構造比較の経営学(続) ― イベロ系理論検討篇 ―	(関西学院大学生協出版委員会)	1976. 12. 1
B 1	現行コマンダ遺制: イスパニア国海商法(4) ― 一条文訳と若干の問題点 ―	「大阪外大学報」第38号	1977. 3. 15

■ 三原 幸久

B 1	伝承的ロマンセ「娘戦士」について	「大阪外大学報」第39号	1977. 3. 15
2	ラテンアメリカの昔話6編(チリ・キューバ・ ボリビア・エクアドル・ドミニカ・キュラソー)	「NHKテレビスペイン語講座テ キスト」1976年10/11月号～1977 年8/9月号	1976. 10. 1 } 1977. 8. 1

〔国 語 学〕

■ 吉田 金彦

A 1	日本語語源学の方法	(大修館書店)	1976. 12. 10
B 1	語源の研究方法(言語時評)	「言語生活」307号(筑摩書房)	1977. 4. 1
2	接尾辞の味(言語時評)	「言語生活」308号(筑摩書房)	1977. 5. 1
3	言語研究のおきて(言語時評)	「言語生活」309号(筑摩書房)	1977. 6. 1
4	類聚名義抄の和訓の研究法	「国語国文」46巻4号(中央図書)	1977. 4. 25
5	万葉のことばと文学(3)～(4)	「短歌研究」33巻10号～34巻9号 (短歌研究社)	1976. 10 ～1977. 9

〔法 律 学〕

■ 貝田 守

A 1	要説民法 — 財産法 — (共著)	(建帛社)	1977. 4. 1
2	現代の法学 (共著)	(法律文化社)	1977. 4. 20
B 1	公務員の不法行為責任	「法律時評」49巻 1 号 (日本評論社)	1977. 1. 1
2	建設協力金について (判例批評)	「判例タイムズ」342号 (判例タイムズ社)	1977. 3. 15
C 1	公務員の不法行為責任	不法行為責任研究会	1976. 10. 17
2	建設協力金に関する一考察	民事法研究会	1977. 4. 24

〔保健体育〕

■ 辻 忠

B 1	走運動における心拍数と尿中成分の変動について	「大阪外大学報」38号	1977. 3. 15
-----	------------------------	-------------	-------------

〔留学生別科〕

■ 吉田弥寿夫

B 1	日本の象徴詩	「日本語と日本語教育—発音・表現編」国語シリーズ別冊 4 (文化庁国立国語研究所)	
2	詩語について	「海馬」創刊号	1976. 12. 1
3	日本近代史(1) 近代の出発	「女性サロン」 (大阪市立婦人会館)	1976. 11. 10
4	日本近代文学史(2) 二葉亭四迷『浮雲』	「女性サロン」 (大阪市立婦人会館)	1976. 12. 10
5	日本近代文学史(3) 森鷗外『雁』	「女性サロン」 (大阪市立婦人会館)	1977. 1. 10
6	日本近代文学史(4) 夏目漱石『虞美人草』 『三四郎』	「女性サロン」 (大阪市立婦人会館)	1977. 2. 10
7	日本近代文学史(5) 島崎藤村『新生』	「女性サロン」 (大阪市立婦人会館)	1977. 3. 10

8	永遠の漂泊者 ― 前登志夫	「短歌」増刊号「現代短歌のすべて」（角川書店）	1977. 7. 15
9	古典・現代名歌鑑賞	「大阪人」（大阪都市協会）	連載中
10	歌壇選評	「点字毎日」（毎日新聞）	連載中
■ 寺村 秀夫			
B 1	連体修飾のシンタックスと意味(2)	「日本語・日本文化」第 5 号 (大阪外大留学生別科研究室)	1977. 3
2	態の表現と適切性の条件	「日本語教育」33号 (日本語教育学会)	1977. 7
3	連帯修飾のシンタックスと意味(3)	「日本語・日本文化」第 6 号	1977. 9
4	日中語くいちがいの一断面	「日中対照研究会報告」第 2 号 (日中対照研究会)	1977
5	書評：井上和子著「変形文法と日本語」上・下（大修館）	「国語学」109号（国語学会）	1977. 7
C 1	使役、受動、他動、自動、の表現と「適切さ（appropriateness）」の問題	ニューヨーク、The Association of Teachers of Japanese 年次大会（MLAの部会）	1976. 12. 29
■ 氏原 寛			
A 1	永遠の少年 ― そのおごりと傷つき 河合隼雄著「心理治療の実際」	（誠信書房）	1977. 7
2	書きたりなさと読みたりなさ 河合・佐治・成瀬編「臨床心理ケース研究 1」	（誠信書房）	1977. 9
B 1	管理監督者とカウンセリングマインド	「いちょう」No. 18 (大阪市職員研修所)	1977. 3
2	外国人学生に対して行った UPI 結果について ― 中 2 年次 ―	「日本語・日本文化」第 5 号 (大阪外大留学生別科研究室)	1977. 3
3	不安神経症患者との面接例	「大阪外大学報」38号	1977. 3. 15
4	辻井論文に対するコメント	「臨床心理事例研究」4 (京都大学教育学部)	1977. 6

5	南米日系人留学生とのカウンセリング ー比較文化論的考察ー	「日本語・日本文化」第6号	1977. 9
C 1	ある心臓神経症患者の治療例 ー夢をめぐってー	日本心理学会第41回大会	1977. 9
2	登校拒否女子中学生とのカウンセリングーその2ー	日本教育心理学会第18回総会	1976. 10

■ 生森 将人

A 1	ロシア語入門新訂版（共著）	（ナウカ社）	1977. 9. 1
2	古代ロシア研究（共訳）	（日本古代ロシア研究会）	1977. 9
B 1	ロシア語の「話す」という動詞について	「日本語・日本文化」第6号	1977. 9

■ 仁田 義雄

B 1	多義性を有する用言についての二三の考察	「日本語・日本文化」第5号	1977. 3
2	文の連文論的側面	「大阪外大学報」39号	1977. 3. 15
3	動詞の辞書記述についての二三の提案	「水門」第10号	1977. 4
4	形容詞の装定用法	「文芸研究」第85集	1977. 5
5	山田文法における文の認定	「日本語・日本文化」第6号	1977. 9
6	構造と体系による文法記述の試みのために	「表現研究」第26号	1977. 9

※

※

※

<アジア研究談話会例会>

1974年5月に発足した後、この例会も回を重ねたが、'76・10～'77・9 に限って諸事情で下記の通りしか開けなかった。

■ 第13回談話会（1976年10月19日）

溝上富天 「北インドにおける言語問題について」

■ 第14回談話会（1977年5月19日）

全体討論 「研究談話会の今後の運営について」

■ 第15回談話会（1977年8月4日）

赤木 攻 「タイ国絶対王制期における海外留学」